

平成28年度 決算報告

収入は9兆6,220億円

⇒ 保険料収入が大幅に増加し、前年度比3,802億円の増加(+4.1%)となった。

- 保険料収入は3,681億円増加した。保険料を負担する被保険者の「人数(被保険者数)」が増加(+3.5%)したこと、「賃金(標準報酬月額)」が増加(+1.1%)したことが主な要因。この結果、28年度の保険料収入の伸び率は+4.6%と、前年度を上回る伸びとなった。「賃金(標準報酬月額)」の増加については、制度改革(標準報酬月額の上限引上げ)の影響も大きく、被保険者の賃金水準が上がったことだけが要因ではないことに留意が必要。なお、人数の伸び率+3.5%は、協会による医療保険の運営が始まった20年度以降で最も高い伸びとなっている。
- 国庫補助等は82億円増加した。補助対象となる後期高齢者支援金等の加入者割相当額が制度改革により減少(総報酬割部分が拡大:27年度1/2→28年度2/3)したものの、同じく補助対象となる保険給付費(総額)が増加していることが主な要因。

支出は9兆1,233億円

⇒ 加入者の増加等により保険給付費が増加したものの、前年度比は1,268億円の増加(+1.4%)にとどまった。

- 支出の6割に相当する保険給付費(総額)は、1,790億円増加した。加入者が増加(+2.3%)したことが主な要因になるが、28年度の保険給付費の伸び率は+3.3%と、前年度の伸び(+6.3%)を下回った。これは、「医療費(加入者1人当たり医療給付費)」について、診療報酬のマイナス改定や高額な薬剤の影響を受けた27年度の医療費の高い伸びの反動から伸びが鈍化(27年度:4.4%→28年度:1.1%)したことが主な要因。
- 高齢者医療にかかる拠出金等(総額)は、494億円減少(▲1.4%)した。総報酬割の拡大のほか、退職者医療制度の新規適用の終了、精算による26年度の概算納付分の戻りなど、一時的な複数の要因が重なったことによる減少である。29年度以降においては、高齢者医療費の増加などに伴い、拠出金等は再び増加に転じるものと考えている。

この結果、28年度の収支差は4,987億円となり、前年度比で2,534億円の増加となった。

- 収支差が前年度比で増加(+2,534億円)した要因は、保険料収入等の収入の増加に対し、診療報酬のマイナス改定等により保険給付費の増加が小さかったことや、制度改革等による一時的な拠出金等の減少といった影響が大きく、協会けんぽの赤字構造が解消されたものではない。こうした傾向が今後も継続するものではない点については、十分留意が必要である。なお、これらの制度改革等を踏まえながら28年度の保険料率を設定した時点(27年12月)においても、今回の決算(見込み)のように、28年度の収支差は一時的に増加するものと見込んでいた。
- 28年度末の準備金残高は1兆8,086億円となった。この金額は、保険給付費等に要する費用の2.6ヵ月分に相当する。

協会けんぽ(医療分)の28年度決算見込み

(協会会計と国の特別会計との合算ベース)

(単位:億円)

		27年度		28年度	
		決算	(前年度比)	決算見込み	(前年度比)
収 入	保険料収入 <伸び率>	80,461	(+3,119) <4.0%>	84,142	(+3,681) <4.6%>
	国庫補助等	11,815	(▲744)	11,897	(+82)
	その他	142	(▲992)	181	(+39)
	計 <伸び率>	92,418	(+1,383) <1.5%>	96,220	(+3,802) <4.1%>
支 出	保険給付費 <伸び率>	53,961	(+3,221) <6.3%>	55,751	(+1,790) <3.3%>
	[医療給付費]	[48,761]	(+3,068)	[50,401]	(+1,640)
	[現金給付費]	[5,199]	(+153)	[5,350]	(+150)
	拠出金等 <伸び率>	34,172	(▲682) <▲2.0%>	33,678	(▲494) <▲1.4%>
	[前期高齢者納付金]	[14,793]	(+451)	[14,885]	(+92)
	[後期高齢者支援金]	[17,719]	(+166)	[17,699]	(▲20)
	[老人保健拠出金]	[1]	(+0)	[0]	(▲0)
	[退職者給付拠出金]	[1,660]	(▲1,299)	[1,093]	(▲567)
	その他	1,832	(+116)	1,805	(▲28)
	計 <伸び率>	89,965	(+2,656) <3.0%>	91,233	(+1,268) <1.4%>
単年度収支差		2,453	(▲1,273)	4,987	(+2,534)
準備金残高		13,100	(+2,453)	18,086	(+4,987)
保険料率		10.00%	(±0.0%)	10.00%	(±0.0%)

賃金の動向 (万円)

	27年度	28年度
平均標準報酬月額 <被保険者1人当たり>	28.0 (+0.9%)	28.3 (+1.1%)

医療費の動向 (万円)

	27年度	28年度
1人当たり保険給付費 <加入者1人当たり>	14.7 (+4.1%)	14.8 (+1.0%)
(再掲) [1人当たり医療給付費]	[13.2] (+4.4%)	[13.4] (+1.1%)

加入者数等の動向 (万人)

	27年度	28年度
加入者数	3,680.9 (+2.2%)	3,764.2 (+2.3%)
被保険者数	2,136.7 (+3.2%)	2,212.3 (+3.5%)
扶養率	0.723	0.702

注) 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。また、数値については今後の国の決算の状況により変動し得る。

支部別収支 全国比較

(国庫補助を除く)

(百万円)

	収 入					計
	保険料収入	一般分	その他収入			
			債権回収 以外	債権回収		
全国計	8,414,171	8,410,702	17,878	7,193	10,685	8,432,049
愛知	566,132	565,898	1,260	485	775	567,392

(百万円)

	支 出											計				
	医療給付費(国庫補助を除く)(調整後)(注3)								現金 給付費等 (国庫補助等を 除く)	前期高齢者納付 金等 (国庫補助 を除く)	業務経費 (国庫補助 を除く)		一般 管理費 (国庫負担 を除く)	その他 支出	平成26 年度の 収支差 の精算	特別 計上分 (業務経費 の別掲)
	医療給付費 (国庫補助を除く)				年齢 調整額	所得 調整額	激変緩和									
	(A)-(B)	医療給付費 (国庫補助を除く) (A)	震災 特別分 (国庫補助を除く) (B)													
全国計	4,339,502	4,339,502	4,341,333	1,831	0	0	0	383,629	3,042,757	107,553	31,244	28,629	0	69	7,933,382	
愛知	289,731	257,150	257,150	0	9,524	19,113	3,945	25,887	205,326	7,258	2,108	1,932	815	15	533,072	

(百万円)

	収支差		
	計	全国平均分	地域差分
全国計	498,667	498,667	0
愛知	34,320	33,650	670

(注)

1. 年齢調整額、所得調整額、激変緩和のマイナスは調整額を受け取る支部、プラスは調整額を出す支部。
2. 債権回収は、資格喪失後受診に係る返納金、業務上傷病による受診に係る返納金、診療報酬返還金、損害賠償金に係る債権の回収額の実績を表す。
3. 医療給付費は、東日本大震災による窓口負担減免措置に伴う平成27年度の還付金等の協会負担分に係る窓口負担減免額を含む。
4. 「平成26年度の収支差の精算」は、平成26年度の都道府県ごとの収支における収支差の精算(健康保険法施行規則第135条の7に基づき行うもの)を表す。
5. 国の年金特別会計に係る分及び東日本大震災による窓口負担減免措置に伴う波及増分(B)が暫定値であるため、数値は今後変わらう。

決算の推移

(協会会計と国の特別会計との合算ベース)

(単位:億円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)
収 入	保険料収入	62,013	59,555	67,343	68,855	73,156	74,878	77,342	80,461	84,142
	<伸び率>	<▲1.1%>	<▲4.0%>	<13.1%>	<2.2%>	<6.2%>	<2.4%>	<3.3%>	<4.0%>	<4.6%>
	国庫補助等	9,093	9,678	10,543	11,539	11,808	12,194	12,559	11,815	11,897
	その他	251	501	286	186	163	219	1,134	142	181
計	71,357	69,735	78,172	80,580	85,127	87,291	91,035	92,418	96,220	
<伸び率>	<0.4%>	<▲2.3%>	<12.1%>	<3.1%>	<5.6%>	<2.5%>	<4.3%>	<1.5%>	<4.1%>	
支 出	保険給付費	43,375	44,513	46,099	46,997	47,788	48,980	50,739	53,961	55,751
	<伸び率>	<1.6%>	<2.6%>	<3.6%>	<1.9%>	<1.7%>	<2.5%>	<3.6%>	<6.3%>	<3.3%>
	[医療給付費]	[38,572]	[39,415]	[40,912]	[41,859]	[42,801]	[44,038]	[45,693]	[48,761]	[50,401]
	[現金給付費]	[4,803]	[5,098]	[5,188]	[5,138]	[4,987]	[4,941]	[5,046]	[5,199]	[5,350]
	拠出金等	29,016	28,773	28,283	29,752	32,780	34,886	34,854	34,172	33,678
	<伸び率>	<1.0%>	<▲0.8%>	<▲1.7%>	<5.2%>	<10.2%>	<6.4%>	<▲0.1%>	<▲2.0%>	<▲1.4%>
	[前期高齢者納付金]	[9,449]	[10,961]	[12,100]	[12,425]	[13,604]	[14,466]	[14,342]	[14,793]	[14,885]
	[後期高齢者支援金]	[13,131]	[15,057]	[14,214]	[14,652]	[16,021]	[17,101]	[17,552]	[17,719]	[17,699]
	[老人保健拠出金]	[1,960]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[1]	[0]
	[退職者給付拠出金]	[4,467]	[2,742]	[1,968]	[2,675]	[3,154]	[3,317]	[2,959]	[1,660]	[1,093]
その他	1,257	1,342	1,249	1,243	1,455	1,559	1,716	1,832	1,805	
計	73,647	74,628	75,632	77,992	82,023	85,425	87,309	89,965	91,233	
<伸び率>	<1.7%>	<1.3%>	<1.3%>	<3.1%>	<5.2%>	<4.1%>	<2.2%>	<3.0%>	<1.4%>	
単年度収支差	▲ 2,290	▲ 4,893	2,540	2,589	3,104	1,866	3,726	2,453	4,987	
準備金残高	1,539	▲ 3,179	▲ 638	1,951	5,054	6,921	10,647	13,100	18,086	
保 険 料 率	8.20%	8.20%	9.34%	9.50%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	

主要計数の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)
被 保 険 者 数 (万人)	1,981.0 (+0.9%)	1,962.4 (▲0.9%)	1,967.7 (+0.3%)	1,969.9 (+0.1%)	1,986.1 (+0.8%)	2,021.3 (+1.8%)	2,071.2 (+2.5%)	2,136.7 (+3.2%)	2,212.3 (+3.5%)
平均標準報酬月額 <被保険者1人当たり> (円)	285,156 (+0.1%)	280,149 (▲1.8%)	276,217 (▲1.4%)	275,307 (▲0.3%)	275,295 (+0.0%)	276,161 (+0.3%)	277,911 (+0.6%)	280,327 (+0.9%)	283,351 (+1.1%)
加 入 者 数 (万人)	3,502.1 (+0.3%)	3,480.7 (▲0.6%)	3,489.6 (+0.3%)	3,487.3 (▲0.1%)	3,499.3 (+0.3%)	3,540.8 (+1.2%)	3,601.5 (+1.7%)	3,680.9 (+2.2%)	3,764.2 (+2.3%)
扶 養 率	0.768 (▲0.010)	0.774 (+0.006)	0.773 (▲0.001)	0.770 (▲0.003)	0.762 (▲0.008)	0.752 (▲0.010)	0.739 (▲0.013)	0.723 (▲0.016)	0.702 (▲0.021)
1人当たり保険給付費 <加入者1人当たり> (円)	123,794 (+1.3%)	127,826 (+3.3%)	132,044 (+3.3%)	134,705 (+2.0%)	136,513 (+1.3%)	138,279 (+1.3%)	140,830 (+1.8%)	146,549 (+4.1%)	148,064 (+1.0%)
[1人当たり医療給付費] (円)	110,087 (+2.8%)	113,191 (+2.8%)	117,189 (+3.5%)	119,988 (+2.4%)	122,269 (+1.9%)	124,331 (+1.7%)	126,827 (+2.0%)	132,429 (+4.4%)	133,857 (+1.1%)

() 内は前年度対比の伸び率、扶養率は前年対比の増減。20年度は老人保健法による医療の対象者について除いて算出している。

拠出金等の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (決算見込み)	29年度 (概算額)
拠出金等 (億円)	29,016 (+276)	28,773 (▲243)	28,283 (▲490)	29,752 (+1,469)	32,780 (+3,028)	34,886 (+2,106)	34,854 (▲32)	34,172 (▲682)	33,678 (▲494)	34,898 (+1,220)
概算納付分 (億円)	27,909 (+545)	28,478 (+568)	28,558 (+81)	29,726 (+1,167)	32,027 (+2,301)	34,054 (+2,027)	35,163 (+1,109)	35,083 (▲80)	34,839 (▲244)	34,763 (▲76)
(増減) 状況										
[前期高齢者納付金]	[+ 9,447]	[+ 1,512]	[+ 544]	[+ 316]	[+ 1,185]	[+ 782]	[+ 673]	[+ 531]	[+ 74]	[+ 106]
[後期高齢者支援金]	[+ 13,129]	[+ 1,926]	[▲230]	[+ 396]	[+ 842]	[+ 1,064]	[+ 768]	[+ 375]	[+ 118]	[+ 292]
[老人保健拠出金]	[▲15,462]	[▲1,505]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
[退職者給付拠出金]	[▲6,577]	[▲1,369]	[▲221]	[+ 455]	[+ 273]	[+ 181]	[▲331]	[▲985]	[▲436]	[▲474]
[病床転換支援金]	[+ 8]	[+ 4]	[▲12]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
精算分等 (億円)	1,106 (▲269)	295 (▲811)	▲275 (▲571)	26 (+302)	754 (+727)	832 (+78)	▲309 (▲1,141)	▲911 (▲602)	▲1,161 (▲250)	135 (+1,296)

() 及び [] 内は前年度対比の増減。

29年度は、現時点で社会保険診療報酬支払基金から通知されている計数。

支出に占める割合	39.4%	38.6%	37.4%	38.1%	40.0%	40.8%	39.9%	38.0%	36.9%	—
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---

(高齢者医療への被用者保険間負担割合)

加入者割

1/3総報酬割

(注) 22年度は8ヵ月分のみ(4ヵ月分は加入者割)

1/2総報酬割

2/3総報酬割

全面総報酬割

(退職者医療制度)

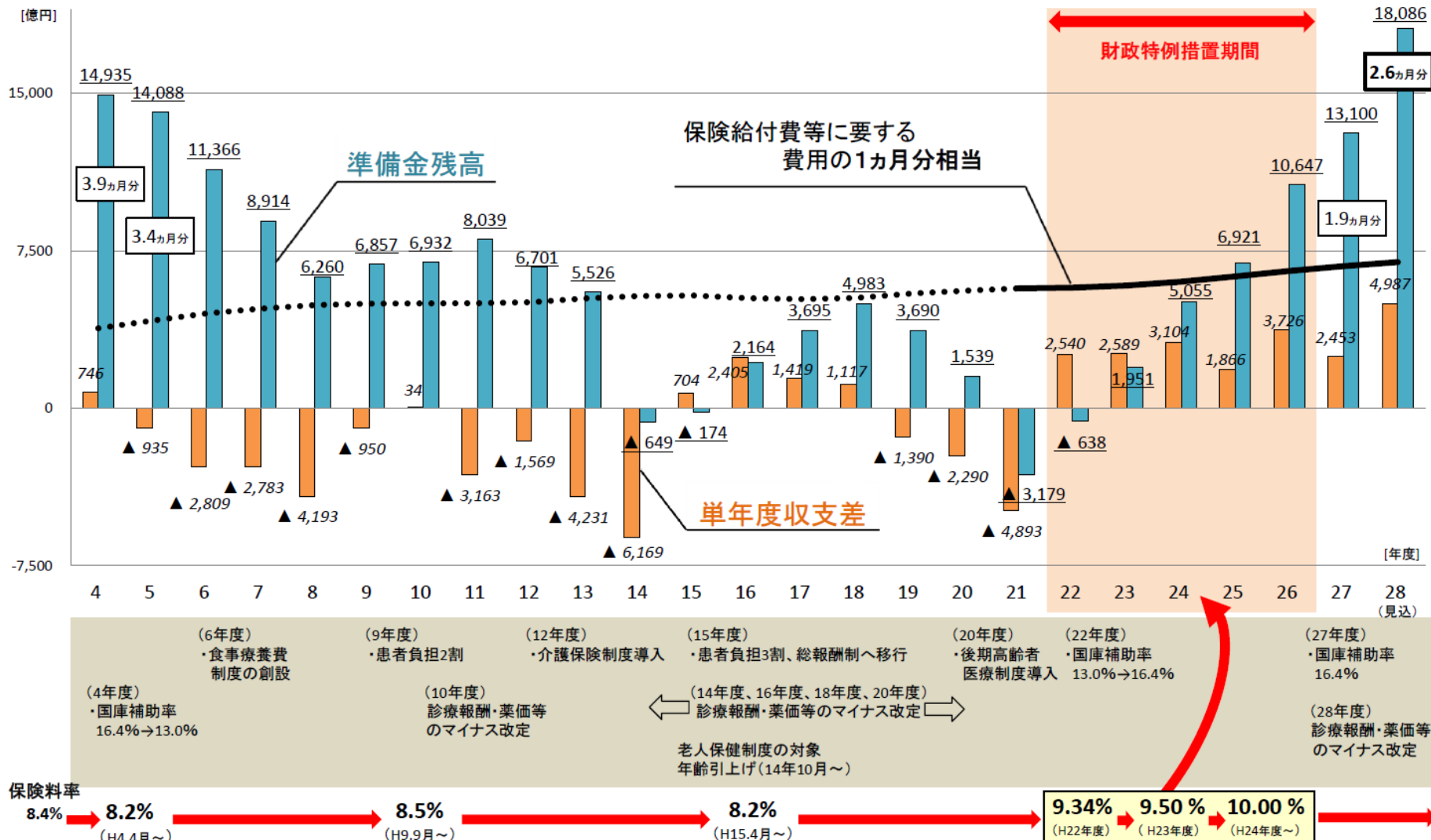
経過措置期間(新規適用あり)

(新規適用なし)

単年度収支差と準備金残高等の推移

(協会会計と国の特別会計との合算ベース)

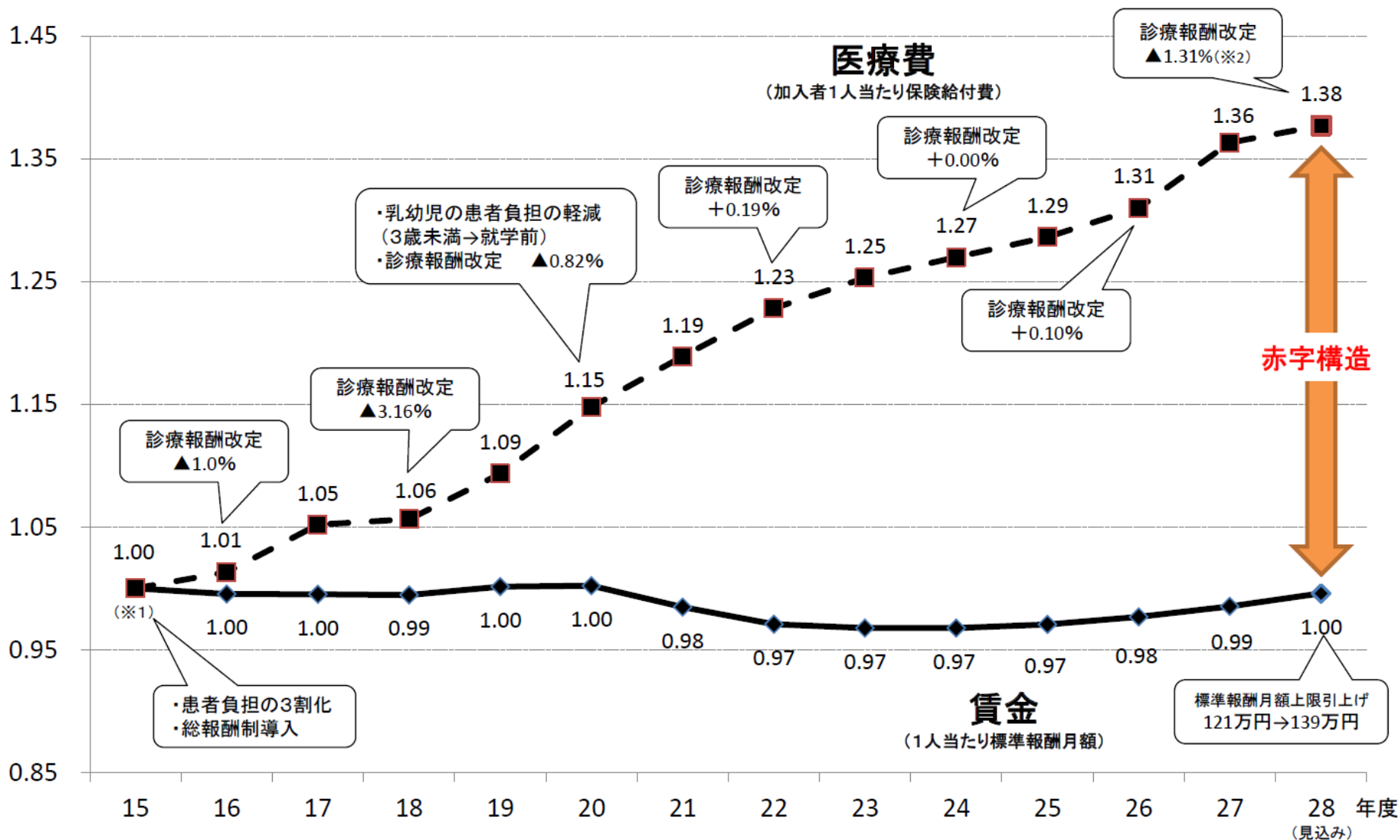
協会けんぽは、各年度末において保険給付費や高齢者拠出金等の支払いに必要な額の1カ月分を準備金(法定準備金)として積み立てなければならないとされている(健康保険法160条の2)。



(注) 1.平成8年度、9年度、11年度、13年度は国の一般会計より過去の国庫補助繰延分の返済があり、これを単年度収支に計上せず準備金残高に計上している。
2.平成21年度以前は国庫補助の清算金等があった場合には、これを単年度収支に計上せず準備金残高に計上している。

協会けんぽの保険財政の傾向

●近年、医療費(1人当たり保険給付費)の伸びが賃金(1人当たり標準報酬)の伸びを上回り、協会けんぽの保険財政は赤字構造



(※1) 数値は平成15年度を1とした場合の指数で表示したもの。

(※2) ▲1.31%は、28年度の改定率▲0.84%に薬価の市場拡大再算定の特例の実施等も含めた実質的な改定率である。